

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
17時22分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002030100	文化財保護課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00972	文化財調査事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	30	文化財の保存と活用							
予算事業	10987	01	10	05	08	02	01	01	文化財調査事業（文化財保護費）
所属長	西本 安秀			担当者（内線）田中充徳（731-11）					
根拠法令等	文化財保護法、大阪府文化財保護条例、吹田市文化財保護条例								
事業開始年度	昭和49年度	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	文化財		
目標	埋蔵文化財、有形文化財等市内各種文化財の調査を行う。		
結果	市内の文化財を把握し、保存、活用を図る。		
事業概要	埋蔵文化財の発掘調査、報告書等作成のための内業整理。有形文化財等市内に所在する文化財の現況や実態調査等に学術的な評価や価値を把握し、あわせて活用等の検討を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	大学等専門機関、市内文化財研究団体	
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	有形文化財等の調査
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,119	11,415	11,865	11,553	13,109
人件費職員数(人)	1.90	1.30	1.90	1.90	1.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	15,523	10,270	15,299	15,299	15,096
総事業費(A+B)	27,642	21,685	27,164	26,852	28,205
特定財源(C)	2,040	1,873	1,912	1,849	2,402
国	2,025	1,860	1,900	1,840	2,393
府	0	0	0	0	0
その他	15	13	12	9	9
市負担(D)	25,602	19,812	25,252	25,003	25,803
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	25,602	19,812	25,252	25,003	25,803
財源計(C+D)	27,642	21,685	27,164	26,852	28,205

所属	文化財保護課
事務事業番号	00972

2頁
平成30年 6月 5日
17時22分49秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	埋蔵文化財発掘届出等及び試掘調査依頼書の件数	件	目標値	92.00	91.00	88.00
			実績値	78.00	95.00	
			達成度(%)	84.80	104.40	
目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	278.01	282.65	
			一般財源(千円)	254.00	263.19	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	埋蔵文化財表書発行件数	件	目標値	953.00	992.00	963.00
			実績値	948.00	929.00	
			達成度(%)	99.50	93.60	
目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	22.87	28.90	
			一般財源(千円)	20.90	26.91	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開発工事等に伴う埋蔵文化財調査・立会及び文化財調査件数	件	目標値	134.00	148.00	147.00
			実績値	169.00	114.00	
			達成度(%)	126.10	77.00	
目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	128.31	235.54	
			一般財源(千円)	117.23	219.32	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	文化財を調査し、保護するのは行政の責務であり、その成果を蓄積することにより指定の文化財が増え、文化財の保存や保護意識の啓発につながるという効果が得られるため、今後も事業の継続が必要である。

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	文化財調査事業	事業区分	その他
事務事業番号	972				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化財保護課	事務事業番号	972
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

調査は開発行為に伴う緊急調査となるため、数値目標の設定は困難である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>埋蔵文化財の調査は大半が民間の開発に伴う緊急調査であり、調査の事業量全体の把握が困難である。その他の各種文化財については開発等によって失われてしまうことを避けるために、その保護を目的として文化財の所在状況や実態を把握するための調査を行っており、これを積極的に進めていく。また、文化財調査は所有者等の協力が不可欠であるが、文化財に対する理解は高いとはいえず、今後文化財保護の啓発を進めることによって、文化財に対する理解を高め、さらに調査を進めていくことができると考えられる。所有者等の協力や市民研究団体の調査活動を通じて、それらを展示公開や冊子等で報告することにより、広く市民に保護意識の啓発に努めたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
09時50分52秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002030100	文化財保護課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00973	文化財公開・啓発事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり		
細節	30	文化財の保存と活用		
予算事業	10988	01 10 05 08 02 02 01	文化財公開・啓発事業（文化財保護費）	
所属長	西本 安秀		担当者（内線）田中充徳（731-11）	
根拠法令等	文化財保護法、大阪府文化財保護条例、吹田市文化財保護条例			
事業開始年度	昭和59年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

＜事業分析＞

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	史跡、文化財等		
目標	文化財を整備・保存するとともに文化財説明板整備等により文化財を身近に感じるための啓発事業の実施。		
結果	文化財保護への理解を得る。		
事業概要	文化財調査の成果をまとめて報告書を作成する。文化財について正しく理解していただくために、説明板を設置するとともに、教育委員会で管理する史跡等の管理に努め、文化財の保存・活用・保護等の啓発を図り、文化財保護行政の理解を得る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

＜事業費＞

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,581	2,451	2,584	2,211	2,523
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	6,666	6,401	6,610	6,237	6,496
特定財源(C)	40	64	40	38	40
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	40	64	40	38	40
市負担(D)	6,626	6,337	6,570	6,199	6,456
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,626	6,337	6,570	6,199	6,456
財源計(C+D)	6,666	6,401	6,610	6,237	6,496

所属	文化財保護課
事務事業番号	00973

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	啓発等冊子作成数	件	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3,200.50	3,118.50	
			一般財源(千円)	3,168.50	3,099.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	説明板の設置件数(補修含む。説明板設置は隔年の予算措置のため、平成27年度は予算措置されていない。)	件	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	200.00	
目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6,401.00	3,118.50	
			一般財源(千円)	6,337.00	3,099.50	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	史跡等文化財管理件数	件	目標値	6.00	6.00	6.00
			実績値	6.00	6.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,066.83	1,039.50	
			一般財源(千円)	1,056.17	1,033.17	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	史跡の保存・整備、文化財説明板等の設置は文化財の存在と重要性を周知し、文化財保護への理解を得ることができ、文化財の保存や保護意識の啓発につながるという効果が得られるため、今後も事業の継続が必要である。

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	文化財公開・啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	973				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化財保護課	事務事業番号	973
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化財の説明板の設置、史跡等文化財の適正な管理を行うことにより、市民の文化財への関心が増し、文化財を通して地域への愛着や地域文化を育むことが期待でき、文化財保護の意識を高める上で大きな意味を持つ。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
09時51分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002030100	文化財保護課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00974	文化財保存・活用事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	30	文化財の保存と活用							
予算事業	10989	01	10	05	08	02	02	02	文化財保存・活用事業（文化財保護費）
所屬長	西本 安秀			担当者（内線）田中充徳（731-11）					
根拠法令等	文化財保護法、大阪府文化財保護条例、吹田市文化財保護条例								
事業開始年度	昭和60年度	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	有形文化財、民俗文化財等			
目標	文化財の指定もしくは登録を実施し、文化財の保護をはかる。保存修理が必要な場合など文化財所有者又は保護団体等に補助金等を交付し、文化財の保存と活用をはかる。			
結果	文化財を保護し、後世に伝えていくとともに文化財保護への理解を得る。			
事業概要	文化財調査に基づき、市内の貴重な文化財を保護するため、吹田市文化財保護審議会に諮問し、指定等を行う。また、文化財の保存と活用を図るため、指定・登録文化財の所有者等に補助金を支出する。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
		交付先①	文化財所有者又は保護団体等	
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	6,194	5,884	6,067	5,982	3,615
人件費職員数(人)	0.80	0.70	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	5,530	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	12,730	11,414	12,509	12,424	9,971
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	12,730	11,414	12,509	12,424	9,971
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,730	11,414	12,509	12,424	9,971
財源計(C+D)	12,730	11,414	12,509	12,424	9,971

所属	文化財保護課
事務事業番号	00974

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	文化財の指定・登録の件数（文化財の調査の進展により設定するため不定）	件	目標値	2.00	1.00	1.00
			実績値	0.00	1.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	12,424.00	
			一般財源(千円)	0.00	12,424.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	補助金交付件数	件	目標値	7.00	6.00	6.00
			実績値	6.00	6.00	
			達成度(%)	85.70	100.00	
目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,902.33	2,070.67	
			一般財源(千円)	1,902.33	2,070.67	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	文化財を指定すること、指定・登録文化財の所有者等に補助金を交付することは保存事業の推進と地域に伝わる民俗芸能等の伝承活動を奨励することとなり、文化財の啓発につながるという効果が得られるため、今後も事業の継続が必要である。

事務事業分析シート

2018/6/11:02

所属名	文化財保護課	事業名	文化財保存・活用事業	事業区分	その他
事務事業番号	974				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化財保護課	事務事業番号	974
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

文化財の補助金は文化財の保存のため現状変更という私有財産権の制限を課すことに対する補償措置とされている。そのため案件に対して精査、金額の決定を行うものであり、件数による数値設定はなじまない。また、補助は、国・府・市の指定や登録文化財に対するもので未指定の文化財に対する制度ではない。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化財の指定を進めることによって、市民の文化財に対する理解を高めていくことができると考えられる。所有者等の協力や市民研究団体の調査活動を通じて、それらを展示公開や冊子等で報告することにより、広く市民に保護意識の啓発をはかる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
09時49分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002030100	文化財保護課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00975	吹田学事始め事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	30	文化財の保存と活用							
予算事業	10990	01	10	05	08	02	02	03	吹田学事始め事業（文化財保護費）
所属長	西本 安秀			担当者（内線）田中充徳（731-11）					
根拠法令等	文化財保護法、大阪府文化財保護条例、吹田市文化財保護条例								
事業開始年度	平成13年度	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	地域に身近にある文化財			
目標	調査を行ってその成果を冊子にまとめる。			
結果	身近な文化財への関心が増し、文化財を通して地域への愛着や地域文化を育む効果がある。			
事業概要	地域の身近にある文化財を調査し、その成果をまとめた冊子を作成する。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先① 大学等専門機関、市内文化財研究団体		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②		
		委託先③		
		主な委託内容	身近な文化財等の調査	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
		交付先②		
交付先③				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	110	110	20	9	110
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	1,744	1,690	1,631	1,620	1,699
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,744	1,690	1,631	1,620	1,699
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,744	1,690	1,631	1,620	1,699
財源計(C+D)	1,744	1,690	1,631	1,620	1,699

所属	文化財保護課
事務事業番号	00975

<活動指標>

		(1) 活動指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	身近な文化財調査実施件数	件	目標値		2.00	3.00	1.00
			実績値		1.00	0.00	
			達成度(%)		50.00	0.00	
目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)		1,690.00	0.00	
			一般財源(千円)		1,690.00	0.00	
		(1) 活動指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値		0.00	0.00	0.00
			実績値		0.00	0.00	
			達成度(%)		0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)		0.00	0.00	
			一般財源(千円)		0.00	0.00	

<成果指標>

		(2) 成果指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	身近な文化財調査及び報告書作成件数	件	目標値		1.00	1.00	1.00
			実績値		1.00	0.00	
			達成度(%)		100.00	0.00	
目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)		1,690.00	0.00	
			一般財源(千円)		1,690.00	0.00	
		(2) 成果指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値		0.00	0.00	0.00
			実績値		0.00	0.00	
			達成度(%)		0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)		0.00	0.00	
			一般財源(千円)		0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	市民の身近にあり、親しまれている文化財を調査し、冊子としてまとめることにより市民が地域の歴史に関心を持ち、より一層地域を愛し、文化財を生かしたまちづくりに参加していただけるようになると思われるので必要である。

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	吹田学事始め事業	事業区分	その他
事務事業番号	975				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化財保護課	事務事業番号	975
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

報告書は指定や登録の基礎資料となり、これにより国の登録文化財になったものもある。成果は冊子として市民にも公開されており、歴史学習の資料となっている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域の身近にある文化財を調査し、その成果をまとめた冊子を作成すると文化財等への理解を深め、市内の文化財保護への理解を得やすい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
15時26分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002030100	文化財保護課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00976	旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）保存活用事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	30	文化財の保存と活用							
予算事業	10991	01	10	05	08	02	03	01	旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）保存活用事業（文化財保護費）
所属長	西本 安秀			担当者（内線）安藤大介（731-11）					
根拠法令等	文化財保護法、吹田市文化財保護条例、同住宅条例								
事業開始年度	平成17年度	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 文化財の活用にかかる公開事業の実施								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）		
目標	国指定重要文化財を良好に管理し、文化財を将来の市民に伝える。旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）の調査・研究や建造物の特質を活かした積極的な活用を図り、文化財保護の意識を養い、文化の創造、交流を促進する		
結果	国指定重要文化財である旧西尾家住宅を保存し、その価値を活かした活用を図ることで、新たな文化の創造、交流、まちづくりに寄与する		
事業概要	平成17年10月から一般公開を行い、歴史的・文化的遺構の保存と文化財としての価値や味わいを生かして、地域文化の新たな文化創造の礎となる場としての保存活用を図る		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	ボランティア（渡路洲倶楽部、積翠会等）
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		イベントや茶会開催等
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	34,133	31,983	32,363	32,443	23,386
人件費職員数(人)	1.40	1.20	1.40	1.40	1.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	11,438	9,480	11,273	11,273	11,123
総事業費(A+B)	45,571	41,463	43,636	43,716	34,509
特定財源(C)	7,085	7,078	7,459	7,548	81
国	6,879	6,879	7,371	7,371	0
府	0	0	0	0	0
その他	206	199	88	177	81
市負担(D)	38,486	34,385	36,177	36,168	34,428
地方債	0	0	0	0	0
その他	206	0	0	0	0
一般財源	38,280	34,385	36,177	36,168	34,428
財源計(C+D)	45,571	41,463	43,636	43,716	34,509

所属	文化財保護課
事務事業番号	00976

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ボランティア参加者延べ人数	人	目標値	2,258.00	1,895.00	1,465.00
			実績値	1,529.00	942.00	
			達成度(%)	67.70	49.70	
目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数から算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	27.12	46.41	
			一般財源(千円)	22.49	38.39	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年間入館者数	人	目標値	8,041.00	7,247.00	6,009.00
			実績値	6,117.00	4,531.00	
			達成度(%)	76.10	62.50	
目標値の積算方法	過去3年間の平均入館者数から算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.78	9.65	
			一般財源(千円)	5.62	7.98	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	重要文化財としての保存及び調査を中心にすえて事業を継続し、市民に対しても保存の必要性を周知していくことで、建造物文化財としての存在意義を理解し、地域に根付いていた文化・歴史を認知していくことにつながっていくと思われる。

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業	事業区分	その他
事務事業番号	976				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	8	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	74	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	74	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化財保護課	事務事業番号	976
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性の②における評価について、事業費の増加に伴い市負担も増大する見込みであるが、国庫補助金の申請等の手続きを進めていく方向性を持っており、国の補助を受けられる可能性があることから、財源の見込みが全く立っていないというわけではない。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>建造物を保存し、公開、活用する場として提供することで、多くの人に文化財を学ぶ機会を与え、その保存啓発を促している。こうした歴史的価値を有する施設は、現状を維持しながら、調査や活用を進め後世に伝えていくことが重要であり、世代を超えた文化財の継承と地域文化の創造に基づいた、まちづくりにつながっていくと思われる。</p> <p>なお、現在建物の老朽化が進み、耐震性にも問題があるため、今後は文化財の価値を損なわないよう、耐震工事を伴う根本修理を実施する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

平成30年3月6日に閣議決定された「文化財保護法及び地域教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律案改正法案」(以下「改正法案」)には、重要文化財等に係る保存管理活用計画の作成と国の認定制度の創設が盛り込まれており、平成31年4月1日施行とされている。こうした動向を踏まえて、文化財の活用事業に係る特別交付税措置が平成30年度当初から適用されており、この特別交付税措置は「保存管理活用計画」に位置づけられている活用事業が対象となることから、旧西尾家住宅においても保存管理活用計画を作成し、国に積極的に要求していく。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月31日
10時22分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002030100	文化財保護課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00977	旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）保存活用事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり		
細節	30	文化財の保存と活用		
予算事業	10992	01	10	05 08 02 03 02
所属長	西本 安秀	旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）保存活用事業（文化財担当者（内線）安藤大介（731-11）		
根拠法令等	文化財保護法、吹田市文化財保護条例、同住宅条例			
事業開始年度	平成19年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 文化財の活用にかかる公開事業の実施			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）		
目標	国登録有形文化財、市指定有形文化財を良好に管理する。また、調査・研究、市の迎賓館としての活用を図り、文化財保護の意識を養うことで、地域の伝統文化の保存、調査・研究を促進する		
結果	国の登録文化財であり、市指定の有形文化財である旧中西家住宅を保存し、活用することで地域の伝統文化を継承させ、新たな文化の創造、まちづくりに寄与する		
事業概要	旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）の保存・公開、調査・研究を行い、地域文化の新たな文化創造の礎となる場として保存活用を図り、迎賓館としても使用する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株)セコム・能美防災(株)関西支社等
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	機械警備業務・消防設備点検業務等
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	13,594	13,126	13,515	13,339	25,651
人件費職員数(人)	0.80	0.70	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	5,530	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	20,130	18,656	19,957	19,781	32,007
特定財源(C)	34	27	27	20	20
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	34	27	27	20	20
市負担(D)	20,096	18,629	19,930	19,761	31,987
地方債	0	0	0	0	0
その他	34	0	0	0	0
一般財源	20,062	18,629	19,930	19,761	31,987
財源計(C+D)	20,130	18,656	19,957	19,781	32,007

所属	文化財保護課
事務事業番号	00977

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ボランティア参加者延べ人数	人	目標値	612.00	628.00	666.00
			実績値	663.00	713.00	
			達成度(%)	108.30	113.50	
目標値の積算方法	過去3年間の参加者数から算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	28.14	27.74	
			一般財源(千円)	28.10	27.72	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年間入館者数	人	目標値	1,752.00	1,699.00	1,875.00
			実績値	1,850.00	2,191.00	
			達成度(%)	105.60	129.00	
目標値の積算方法	過去3年間の平均入館者数から算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	10.08	9.03	
			一般財源(千円)	10.07	9.02	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	保存、調査を進め公開し、活用の場とすることを今後も実施していくことが重要である。継続することで市民が建造物の存在意義を理解し、地域に根付いていた文化・歴史を認知していくことにつながっていくと思われる。

事務事業分析シート

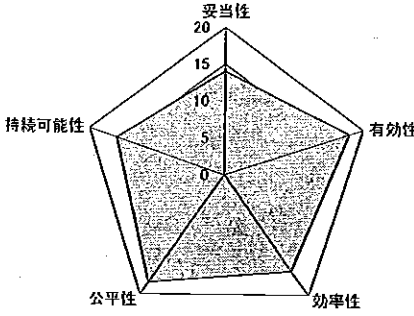
所属名	文化財保護課	事業名	旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用	事業区分	その他
事務事業番号	977				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化財としての保存・公開を目的に市が寄附を受けたものであり、寄贈者の意向並びに文化財保護の趣旨に基づき運営を図っていく必要がある。 また、建造物を保存し、公開、活用する場として提供することで、多くの人に文化財を学ぶ機会を与え、その保存啓発を促している。こうした歴史的価値を有する施設は、現状を維持しながら、調査や活用を進め後世に伝えていくことが重要であり、世代を超えた文化財の継承と地域文化の創造に基づいたまちづくりにつながっていくと思われる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
14時13分34秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002030100	文化財保護課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00978	博物館施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	30	文化財の保存と活用							
予算事業	10993	01	10	05	09	01	01	01	施設管理事業（博物館費）
所属長	西本 安秀		担当者（内線）立岡（IP731-11）						
根拠法令等	博物館法（法律285号）、吹田市立博物館条例								
事業開始年度	平成4年度	直近の改正		平成24年度					
改正内容	博物館協議会の委員の任命の基準について、文部科学省令で定める基準を参酌して、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定める必要があったため。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	博物館施設及び敷地の管理運営		
目標	吹田市立博物館の管理運営を行う。		
結果	吹田市立博物館の管理運営を行う。		
事業概要	吹田市立博物館の管理運営を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	警備等実施業者
		委託先②	設備管理、空調機器管理等実施業者
		委託先③	清掃、ゴミ収集等実施業者
		主な委託内容	警備、設備管理、清掃、空調機器管理等
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	114,576	92,593	75,198	74,404	78,762
人件費職員数(人)	2.00	2.00	1.80	1.80	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	14,494	14,494	15,890
総事業費(A+B)	130,916	108,393	89,692	88,898	94,652
特定財源(C)	91	82	87	29	42
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	91	82	87	29	42
市負担(D)	130,825	108,311	89,605	88,869	94,610
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	130,825	108,311	89,605	88,869	94,610
財源計(C+D)	130,916	108,393	89,692	88,898	94,652

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	施設及び設備の老朽化等により発生した修理件数（修理実施により不良部分を改善し、安心安全な資料保管、施設利用等を確保）	円	目標値	2,264,000.00	1,400,000.00	1,400,000.00
			実績値	2,264,000.00	4,944,931.00	
			達成度(%)	100.00	353.20	
目標値の積算方法	修理箇所を早期に発見により、事故防止に努めるとともに経費の節減を図る。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.05	0.02	
			一般財源(千円)	0.05	0.02	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開館日数	日	目標値	294.00	294.00	294.00
			実績値	294.00	292.00	
			達成度(%)	100.00	99.30	
目標値の積算方法	開館日数の目標値は「吹田市立博物館条例施行規則」第3条に基づく日数（開館により入館者の確保に務め、経費節減を図る。）	単位当たりコスト	総事業費(千円)	368.68	304.45	
			一般財源(千円)	368.40	304.35	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	博物館には、指定文化財をはじめ多数の文化財等資料を収蔵しています。これら資料の保管のために、収蔵庫・展示室内では温湿度を設定するなど空調管理を実施していますが、空調設備も著しい老朽化が見られています。また、老朽化ばかりでなく、雨漏りでも機器の故障の原因となる危険性をはらんでいます。機器が動作しなくなった場合、文化財等資料の保存に多大な影響が及ぶことから、施設、設備機器の保全は重要な課題となっています。

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	博物館施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	978				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>博物館は24年が経過し、施設及び設備の著しい老朽化が見られます。特に電気設備、空調機器等については、故障の発生に止まらず、生産終了等により部品供給が不能となったもの、経年による機能低下や法令順守により機器等の変更が必要となる事例も起こっています。また、建物についても、壁面、屋上、床面の亀裂や防水機能の低下により各所に雨漏りが発生するなど、修理箇所が増加する傾向にあります。修理及び改修については、関係室課と協議しながら迅速的・計画的に実施することにより、被害が拡大する前に、不良部分、故障箇所を改善し、効率的な経費支出、安心安全な資料保管、施設利用等を確保することが重要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月27日
09時23分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002030100	文化財保護課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00979	調査研究事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり		
細節	30	文化財の保存と活用		
予算事業	10994	01	10	05 09 02 01 01 調査研究事業（博物館費）
所属長	西本安秀	担当者（内線）藤井裕之（731-12）		
根拠法令等	博物館法法律（285号）、吹田市立博物館条例			
事業開始年度	平成4年	直近の改正	平成26年	
改正内容	博物館の登録先に指定都市の教育委員会が加わる			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	不特定多数の市民		
目標	地域の歴史や自然などに関する諸資料を館蔵資料とともに市民の主体的参加を得ながら、調査研究し、新たな価値を発見し、その情報を市民に公開発信する。また、市民の主体的な発見を支援する。		
結果	調査された情報は情報拠点である博物館に集積され、市民の知的共有財産として活用されることにより地域の文化の発見、見直し、まちづくり、地域文化の創造に役立てられる。		
事業概要	地域の考古・歴史・民俗・美術工芸等の資料について、市民からの要請や学芸員の設定したテーマに基づいた調査研究を行い、必要に応じて資料を収集整理している。その成果を特別展を主とした企画展や講座・史跡ウォーク・体験学習などの教育普及活動に活用している。加えて自然・環境に関する資料も市民と協働で調査し、夏季展示に反映させている。また、展覧会図録や逐次刊行する「博物館だより」・「博物館館報」などに調査成果を公表し、地域の歴史資料の保存と活用に供している。また、各中学校に準拠した地域の歴史教材を開発し、順次製作している。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,438	3,378	3,502	3,288	3,386
人件費職員数(人)	1.80	1.80	1.80	1.80	2.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	14,706	14,220	14,494	14,494	17,479
総事業費(A+B)	18,144	17,598	17,996	17,782	20,865
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	18,144	17,598	17,996	17,782	20,865
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,144	17,598	17,996	17,782	20,865
財源計(C+D)	18,144	17,598	17,996	17,782	20,865

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	資料調査件数	件	目標値	40.00	48.00	48.00
			実績値	92.00	102.00	
			達成度(%)	230.00	212.50	
目標値の積算方法	企画展開催数×8	単位当たりコスト	総事業費(千円)	191.28	174.33	
			一般財源(千円)	191.28	174.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	調査研究活動を公表する年間刊行物数	冊	目標値	6.00	6.00	6.00
			実績値	6.00	6.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	広報誌4冊 館報1冊 中学校歴史教材1冊	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,933.00	2,963.67	
			一般財源(千円)	2,933.00	2,963.67	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年間講演会・講座・体験学習・史跡ウォーク等・出前講座等の受講者数	人	目標値	5,000.00	15,000.00	15,000.00
			実績値	18,680.00	23,066.00	
			達成度(%)	373.60	153.80	
目標値の積算方法	平成15年度講座等諸事業の受講者数×4・5	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.94	0.77	
			一般財源(千円)	0.94	0.77	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		冊	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	調査研究事業は企画展等の実施や講演会・講座・体験学習・史跡ウォーク等多様な教育普及活動の実施において根幹となる基礎的活動であり、その成果が反映されている。成果指標である受講者数は開館時に比べ博物館の存在意義が浸透し、受講者は他の施設や市民団体等から出前講座の要請を受けることも多く、増加傾向にある。そのため成果指標の目標値を上方修正している。調査成果を公開するため『博物館だより』年4冊、『館報』1冊を刊行している。中学生向けに学校区ごとの細かな地域史の視点を取り入れた歴史教材を年間1冊ずつ刊行し、学校教育との連携にも取り組んでいる。事業費は事業数とその成果指標である受講者数から判断すれば適切であり、また教育普及活動については、ほとんどが学芸員が講師をつとめており、費用対効果は高い。今後はさらにさまざまな市民や研究者と連携をして調査研究を実施することでさらなる成果の向上と効率化をはかることを検討が必要であるが、市民や学校のニーズに応じて歴史学習の情報提供を行うことは重要な責務となっており、現行どおり継続する。

事務事業分析シート

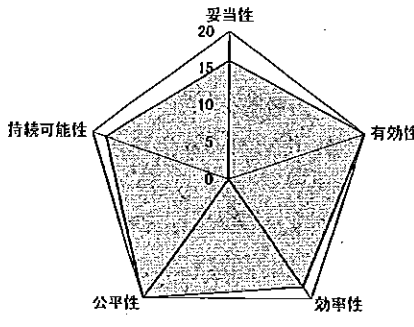
所属名	文化財保護課	事業名	調査研究事業	事業区分	その他
事務事業番号	00979				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞給等には速やかに適正な措置を請じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>博物館の基本的機能のひとつである調査研究事業は専門的知識と技能を伴い、中長期の視点に立って、地域に伝わる文化的遺産の価値を見出し、その情報を展示や普及事業を通じて市民に提供する基礎的事業である。そのため継続的に安定した状況で実施することが必要である。今後も幅広い市民のニーズに応えられるよう、様々な市民団体や研究者と協働して調査研究活動を行っていくことが望まれる。こうした協働体制の強化を通じ、成果の向上と効率化を図る必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
09時26分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002030100	文化財保護課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00980	収蔵保管事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり		
細節	30	文化財の保存と活用		
予算事業	10995	01	10	05 09 02 02 01 収蔵保管事業（博物館費）
所属長	西本安秀		担当者（内線）藤井裕之（731-12）	
根拠法令等	博物館法（法律285号） 吹田市立博物館条例			
事業開始年度	平成4年	直近の改正	平成26年	
改正内容	博物館の登録先に指定都市の教育委員会が加わる			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	博物館資料		
目標	博物館資料を適正に保管、管理する。		
結果	地域歴史資料を良好な状態で保管し、市民の知的共有財産として次世代に継承する。		
事業概要	新たに収集した博物館資料について資料の保存の観点から殺虫、殺菌のくん蒸処理を行う。また、収蔵庫に保管している博物館資料について資料の保存上、適度な環境を維持できるよう、また虫や菌などの被害が生じないように、収蔵環境を維持管理するモニター調査を行い、3年に1回収蔵庫全体のくん蒸処理を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	関連業者
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	資料の燻蒸、収蔵環境維持管理モニター調査
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,401	1,002	1,723	1,242	2,656
人件費職員数(人)	1.70	1.70	1.70	1.70	1.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	13,889	13,430	13,689	13,300	15,096
総事業費(A+B)	15,290	14,432	15,412	14,542	17,752
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	15,290	14,432	15,412	14,542	17,752
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	15,290	14,432	15,412	14,542	17,752
財源計(C+D)	15,290	14,432	15,412	14,542	17,752

所屬	文化財保護課
事務事業番号	00980

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	くん蒸庫での資料くん蒸回数	回	目標値	2.00	4.00	2.00
			実績値	2.00	4.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年間の適度なくん蒸回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7,216.00	3,635.50	
			一般財源(千円)	7,216.00	3,635.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	館内棲息昆虫、浮遊菌・微モニター調査なし収蔵庫くん蒸回数	回	目標値	2.00	2.00	1.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	適度な館内棲息昆虫、浮遊菌・微モニター調査なし収蔵庫くん蒸回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7,216.00	7,271.00	
			一般財源(千円)	7,216.00	7,271.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	良好な状態で保管すべき収蔵資料の数	数	目標値	26,260.00	26,394.00	27,348.00
			実績値	26,394.00	27,348.00	
			達成度(%)	100.50	103.60	
目標値の積算方法	前年度に良好な状態で保管できた収蔵資料の数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.55	0.53	
			一般財源(千円)	0.55	0.53	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>事業費は地域の歴史、文化に関するかけがえのない諸資料を次世代に伝えるべく博物館に収集し、良好な状態で保管し、失われていく地域文化財を保護する目的を達成するには現状ではくん蒸が最も適切であることから適切である。成果指標となる収蔵資料数も年々増加しており、特に平成29年度は収蔵庫を増設して、現在の宗教芸術家として著名な西村公朝氏の作品を収蔵し、コレクションを充実することができた。今後はくん蒸に代わるあらゆる手段の研究の進展をみながらより有効性・効率性を高めることが必要であるが、地域文化資源である博物館資料を良好な状態で保管していくことは公共公益性も高いことから現行どおり継続する。</p>		

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	収蔵保管事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00980				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		内部管理	点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		内部管理	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		内部管理	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>収蔵保管事業は博物館の基本的機能のひとつであり、地域の大切な文化遺産を適切な環境で次世代へ伝えていくために必要である。なお、収蔵庫全体のくん蒸は経費と環境面への配慮から3年に1度とし、収蔵庫くん蒸を実施しない年度は資料に悪影響をもたらす害虫が生息する環境を館内に作り出さないように、環境維持管理モニター調査を行い、博物館館内を資料の保管に適切な環境となるよう心掛けている。また、収蔵庫を増設して現代宗教芸術家の第一人者であった故西村公朝氏の資料、作品を吹田市のかけがえのない財産として収蔵することができた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月27日
09時20分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002030100	文化財保護課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00981	公開展示事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり		
細節	30	文化財の保存と活用		
予算事業	10996	01	10	05 09 02 03 01
所属長	西本安秀	公開展示事業（博物館費）		
根拠法令等	博物館法（法律285号）吹田市立博物館条例			
事業開始年度	平成4年	直近の改正	平成26年	
改正内容	博物館の登録先に指定都市の教育委員会が加わる			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	不特定多数の市民		
目標	歴史資料を中心とする地域の文化に関する諸資料の調査成果をふまえ、市民の主体的な参加を得ながら、資料を公開展示し、その情報を発信し、市民の生涯学習活動を支援する。		
結果	地域の文化に関する情報を広く発信し、その発見、見直し、創造につなげ、市民生活を豊かにする。		
事業概要	公開展示事業は、吹田の通史と千里丘陵の窯業生産をテーマとした常設展示の他に特別展等の企画展を実施している。平成29年度の特別展は春季に「田能村竹田展」秋季に「北大阪のまつり展」を実施し、展示図録を刊行した。夏季展示では「自然のふしぎをあそぼう」として公募市民による展示実行委員会と協働して市民参画展示を実施した。また、学校教育との連携を目的に小学生を対象とするむかしのくらしと学校をテーマとした特別企画を博物館ボランティアと協働で実施した。企画展は「室戸台風」をテーマに実施し、同会期中に「さわる月間」を同時開催し、さわる展示を常設化によってユニバーサルミュージアムをめざした展示の充実を図った。その他、数多くの講座、講演会、体験学習、ワークショップ等の教育普及事業を実施した。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他	委託先① 委託先② 委託先③ 主な委託内容 交付先① 交付先② 交付先③ 内容	市民展示実行委員会 市民ボランティア 関連業者 展示企画運営の協働など

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10,857	9,177	10,473	9,528	10,176
人件費職員数(人)	1.90	1.90	1.90	1.90	2.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	15,523	15,010	15,299	15,299	18,274
総事業費(A+B)	26,380	24,187	25,772	24,827	28,450
特定財源(C)	1,039	1,100	1,090	908	1,082
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,039	1,100	1,090	908	1,082
市負担(D)	25,341	23,087	24,682	23,919	27,368
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,039	0	0	0	0
一般財源	24,302	23,087	24,682	23,919	27,368
財源計(C+D)	26,380	24,187	25,772	24,827	28,450

所属	文化財保護課
事務事業番号	00981

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年間特別展、企画展、特別企画展開催数	回	目標値	5.00	6.00	6.00
			実績値	6.00	6.00	
			達成度(%)	120.00	100.00	
目標値の積算方法	平成15年度特別展、企画展、特別企画展開催数+2回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,031.17	4,137.83	
			一般財源(千円)	3,847.83	3,986.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	春季および秋季の特別展における展示情報を記録・発信する展示図録の刊行数	冊	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	春季および秋季の特別展にて1冊ずつ	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12,093.50	12,413.50	
			一般財源(千円)	11,543.50	11,959.50	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年間入館者数	人	目標値	18,000.00	24,000.00	24,000.00
			実績値	31,663.00	34,448.00	
			達成度(%)	175.90	143.50	
目標値の積算方法	平成15年度入館者数×2	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.76	0.72	
			一般財源(千円)	0.73	0.69	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>地域の歴史・文化に関する諸資料の公開展示は、地域文化の発見、見直し、創造の観点から博物館業務の基本となる。その成果である年間入館者は年によって上下するものの開館時に比べ、倍以上の数で安定している。そのため成果指標の目標値を上方修正した。こうした成果を維持しさらに増加させるためには展示回数や展示レベルの維持は必要であり、この点で事業費は適切と判断する。今後も企画展のテーマによっては市民や市民団体の参画を取り入れ、常設化したさわる展示は、ユニバーサルミュージアムの機能も強化しつつ、学校教育、市民、地域との連携をはかりながらわかりやすく、魅力的な展示への改善を続けていく。また、平成29年度に収集した現在の宗教芸術家として著名な西村公朝氏の作品を積極的に公開して博物館のあらたな魅力を発信していくためにも公開展示事業は、現行どおり継続する。</p>		

事務事業分析シート

2018/6/517:05

所属名	文化財保護課	事業名	公開展示事業	事業区分	その他
事務事業番号	00981				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	90	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>企画展等で資料を公開展示することで、地域の文化に関する情報を積極的に発信している。また、展示テーマに応じて市民参画の手法を取り入れ、市民のニーズ、市民の博物館活動への積極的な参加をめざしている。こうした市民参画の手法と展示品の情報を視覚以外からもみつける「さわる展示」の実施による博物館利用に関するマイノリティーへの対応は、新たな利用者層を創出し、効率性にもつながっている。しかし、年間入館者数は、企画展のテーマによって変動するものであり、安定的に入館者数を維持、あるいは増加させることには難しさがある。一層広報の充実をはかり、展示テーマについては、市民が何を求めているかの把握につとめるとともに、新たに収集した現在宗教芸術家として著名な西村公朝作品積極的に公開して博物館の新たな魅力を発信していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--